

Science and Mathematics Course Guide

令和8年度

理数科 案内



かがわ総文2025
地学部門 文部科学大臣賞



SSつくば研修



SS白神フィールドワーク



宮城県仙台第三高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
第Ⅲ期 指定校



スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

SSHの活動をリードするのは理数科

令和4年度から5年間、文部科学省からSSH第Ⅲ期の指定を受けています。仙台三高のSSH事業は学校全体で実施されますが、特色ある「学校設定科目」や「先端科学講演会」への優先参加など理数科を中心としたプログラムがあり、先進的な取り組みを数多く体験することができます。



SSH先端科学講演会

教科・科目融合した「学校設定科目」 (三高型STEAM教育)

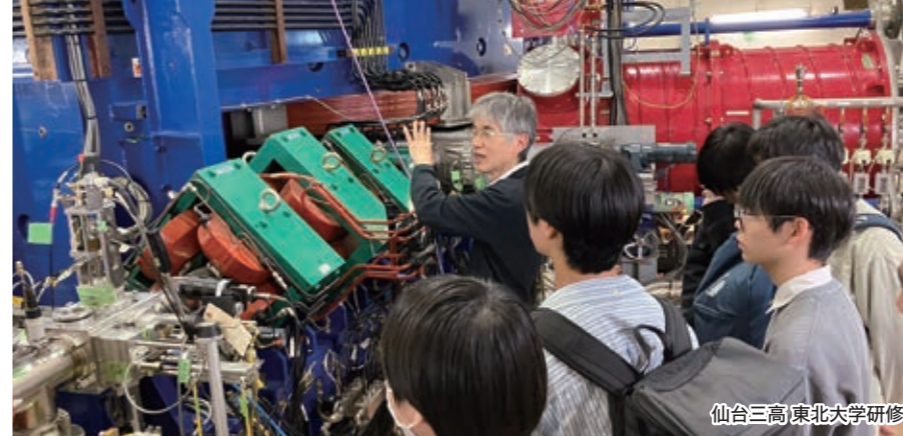
理数科では、他の教科・科目と融合した「学校設定科目」(三高型STEAM教育)に取り組むことで、これからの社会で求められている課題発見・解決力や論理的思考力など研究に必要な素養を身につけることができます。



三高型STEAM教育 (概念図)



SSH探究の日 (課題研究発表会)



SSH先端科学講演会

最先端の学問に触れる

研修会や講演会など、教科書を飛び越えた最先端の学問を体験する機会を多く設けています。

探究する心を養う「課題研究」

課題研究での経験が生徒の未来を後押しする

1年次では、『イノベーション理数探究基礎』を通し「ドローンプログラミング実習」をはじめとする様々な実験・実習により、研究活動に必要な課題発見力、課題解決力、総合実践力を身につけることができます。

2年次からは、『イノベーション理数探究I』において、それぞれが決めたテーマについて研究を行います。成果をレポートにまとめ、発表を行うことで、プレゼンテーション能力や科学的コミュニケーション能力の向上を図ります。必要に応じて、大学の先生や、企業の研究者など外部の先生方から指導・助言を受けることもできます。

これらの体験を通して鍛えられた「考える力」や「粘り強さ」、「探究心」は、進路達成の上で大きな力となるだけでなく、大学進学後にそれぞれの道で活躍するための確かな土台となります。

国際大会での活躍

理数科の学びから世界へ

Regeneron ISEF 2026 出場
(アメリカ・フェニックス)
Regeneron ISEF 2024
※文部科学大臣特別賞

Taiwan International Science Fair
化学部門3等賞 (2025)
化学部門4等賞 (2023)

研究発表を通して国際性も育成

東北大学GLCや海外の高校と連携し、

英語でのコミュニケーションスキルを身につける

英語の授業では、東北大学グローバルラーニングセンター (GLC)の留学生や、台湾師範大学附属高級中学 (台湾)の生徒に、自分の研究を英語で説明し質疑応答を行う特別プログラムがあります。自分の言葉で話せる題材があることで、ディスカッションの繰り返しを通し、高い英語コミュニケーションスキルを身につけることができます。



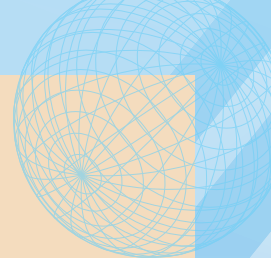
理数科生徒とGLC

高い進路実績

国公立大学、難関大学を中心に高い進路実績を誇り、仙台三高の進路牽引役となっています。東北大学AO入試のような総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試に強いのも理数科の特徴です。

主な大学の合格者数 (令和8年度入試) ※数字は理数科生徒の合格者数。()内は理数科生徒の現役合格者数。

秋田大医学部医学科2 (2)、弘前大医学部医学科1 (0)、北海道大4 (4)、帯広畜産大1 (1)、弘前大1 (1)、東北大13 (10)、宮城教育大2 (2)、宮城大2 (1)、岩手大8 (7)、山形大9 (9)、福島大1 (1)、茨城大1 (1)、宇都宮大2 (2)、埼玉大6 (3)、信州大1 (1)、千葉大2 (2)、東京農工大2 (2)、静岡大1 (1)、電気通信大2 (1)、金沢大1 (0)、広島大2 (2)、早稲田大1 (1)、東京理科大2 (2)、明治大1 (0)、中央大2 (2) など



研究者の卵を養成

大学進学後に発揮される理数科の強み

2024年度「東北大学工学部長賞」を理数科OBが受賞、2024年度「筑波大学学長表彰」を理数科OGが受賞しました。このほか、東北大学総長賞の受賞など各分野で活躍している卒業生も多く、理数科での学びは大学進学後の活躍を後押ししています。

卒業生・在校生の声



小澤 知夏さん (55回生)

2020年3月仙台第三高等学校理数科卒業、2025年3月筑波大学情報学群情報メディア創成学類卒業(学長表彰受賞)、現在筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム博士前期課程2年

仙台三高理数科は、理数系の学問への愛に溢れた先生方と、同じ志を持つ仲間に出会った最高の環境です。ここには授業の枠を超えて議論し、挑戦を全力でサポートしてくれる先生方や、それを応援してくれる仲間がいます。

特筆すべきは、大学での研究活動を取り組んでいると断言できる高度な課題研究です。大学訪問やフィールドワークに加え、大学/企業の研究者が来校される講演など、学びを深める好機に溢れています。私自身、科学者の卵養成講座への採択や小学生向けプログラミング講座の開講など、自由に挑戦させていただきました。

またその絆は卒業後も強固で、研究開発の第一線で活躍する先輩に遭遇することも多く、「三高理数科ネットワーク」は一生の財産となります。理数科での3年間は私の研究人生の原点であり、単なる勉強以上の「研究者としての視座」を授けてくれました。ぜひこの場所で、自分の興味と可能性を無限に広げてください。



伊藤 天伽さん (62回生・仙台三高理数科3年)

自然科学部地学班に所属。「氷と塩からみえたエウロパの世界—カオス地形の形成メカニズムの解明—」の研究に取り組み、第49回全国総合文化祭(かがわ総文2025)自然科学部門 研究発表：地学分野で最優秀賞・文部科学大臣賞、つくばScienceEdge2025でブースポスター賞を受賞。SSP+ (Super Scientist Program Plus) 6期生。

私は小学校高学年の頃から宇宙に強い関心を抱き、科学の面白さに魅了されて仙台三高理数科に入学しました。理数科では、自分と異なる分野に興味を持っている仲間と共に、互いに高め合いながら日々成長できます。特に充実した環境で探究活動に取り組めることが最大の魅力です。探究活動では、身近に溢れている多くの不思議について調査・まとめ・発表をします。1年次では実験手法や探究の進め方など基礎を学び、その後少人数で構成された班で興味のあるテーマ

を深く探究し、2年次後半から3年次にかけて発表を行います。学校内だけでなく、東北大学留学生(GLC)との英語でのディスカッションや台湾研修などで発表を行います。発表を通して議論の大切さを学び、自分の考えを国際的な視点からさらに深めることができます。三高理数科は答えのない問いを仲間と追究し、皆さんが持っている好奇心を存分に発揮できる場所です。科学が好きな人、興味がある人はぜひ仙台三高理数科に入りましょう！

スーパーサイエンスハイスクール指定校
宮城県仙台第三高等学校

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷1丁目19番

TEL 022(251)1246 FAX 022(251)1247 E-mail sensan@od.myswan.ed.jp HP <https://sensan.myswan.ed.jp/>

